

令和6年度 第2回(11月)大磯町議会 議会報告会
「町政に対する意見・要望・提言」
とりまとめ結果

※記載内容は、「令和6年度 第2回議会報告会まとめ」より抜粋

【自治会】

- ・区長は多忙。なんでも区長に任せるのではなく、多方面の人材を活用し、分散化を図っていただきたい。
- ・広範囲の人材を活用しないと地区の活動が停滞する。区長への依存度が高いことを懸念するが。

【防災】

- ・防災訓練をお祭りのようにする、イベントのようにするなどはどうか。
- ・南下地区は個人情報を出してもらい、町内独自で津波訓練をしているが、10、20m級の津波が来たら逃げ場がないことに不安を感じている。
- ・三沢川の堤防の高さの見直しを要望する。
- ・住みたいという人がいても供給できるものがない。価値がある土地が生かされない状態。防災面から考えても高さ15m以上のマンションが建てられるように、近隣商業地域の高さ制限、都市計画を見直すことが人口減少対策に役立つと思う。国県への要望をしっかりとやってほしい。
- ・防災マップを見ると一時避難所があるが、どの災害に対応した避難所なのかわからない。
- ・各地区の自主防災会でいつとき避難場所や高台避難場所を決めている。海拔18メートル以上と設定して、避難訓練の際は指定避難所ではなく高台に行くという避難訓練をするべきと思うが、国府中の坂は、お年寄りには登れないので、リヤカーなどを用意する必要がある。
- ・要援護者の避難について。個人情報なので、区長や民生委員以外には要援護者であることを知られないようにしているが、本来は、近所が助けるのが望ましいと思う。
- ・防災無線が途切れて聞き取れない。
- ・葛川の水を海に流すために西にも流れるようにして川の氾濫を防ぐ方法も考えられる。
- ・ボランティアセンターのようなものが、状況を把握し、中心になって手伝いの割り振りなどを行う形が望ましいと思う。
- ・災害に対して、3日分の食料、水は用意したい。備えについての意識向上は今後も続けていく事が大事。

- ・三沢川樋門整備の水門コントロール、夜間に水位が上昇した際の危機管理はどうする？
- ・台風10号の降雨災害で、防災行政ナビの情報がとてもありがたかった。雨の情報だけでなく土砂災害の情報があるとよかった。

【その他】

- ・静岡県焼津市ではリクリットという町の課題を訴えられるアプリがあって、中学生など暇な時間に町の課題を入力して送信していた。こういうデジタルプラットフォームがあると若者が参加しやすい。
- ・令和7年4月に施行予定のいじめ防止条例について、時期尚早ではないか。条例は町民の意見を取り入れるべき。小中学校の道徳教育についても検討してほしい。
- ・新庁舎はいつ実現するのか。具体的に町は示して欲しい。
- ・国府と大磯が一緒になった70周年を迎え記念事業などは行わないのか。
- ・公園を安全に使うため、遊具の損傷や街灯の老朽化、植栽の管理を徹底してほしい。
- ・人口減少対策について、空き家の再利用や移住対策が必要ではないか。